

中国地域フットサル審判員強化研修会
(JFA 第26回全日本フットサル選手権中国地域大会)

1月30日(土)31日(日)にびんご運動公園体育館にて行われた標記の大会を中国5県から派遣された9名のフットサル2級審判員が担当しました。地域のトップチーム同士の戦いは非常にフェアであり、チーム・運営・審判の協力と連携がうまく行われている印象を受けました。試合内容は一瞬のスキを突く攻防が見られるスピーディーな展開であり、審判員にとって的確な判断とともに動き出しやステップワークの速さが求められる場面が多かったです。また、試合をうまくコントロールできる要素の一つとしてパーソナリティー(冷静で毅然とした態度)は非常に大切であるとあらためて感じました。(RDO 江角直樹)



(30日の審判員)

【参加審判員のコメント】

脇田栄太氏(広島県)

1月30日、31日の二日間にわたり、第26回全日本フットサル選手権中国地域大会に審判員として参加させていただきました。まずはコロナ禍において今回の大会開催に当たり、ご協力頂いた全ての方々へ厚く御礼申し上げます。今大会に参加するにあたり、個人的な課題として、「選手の安全を確保しながら、フェアでタフなプレーを引き出す」ことを意識して取り組みました。その中で手応えを感じた部分もありましたし、上手い出来ないこともありましたが、多くの仲間を支えられながら審判員としての責任を果たせたのではないかと思います。今回のこの貴重な経験を、今後の糧にしなが、個人のスキルアップと、中国地域のフットサル発展に貢献していきたいと強く思いました。

古河崎 大介氏(広島県)

今回の研修、振り返りを通してレフェリーとして試合のマネジメント、選手とのコミュニケーションの取り方にまだまだ課題があると感じました。来年度の中国リーグ等で今回課題と感じたところやプレーの展開やゲームの流れを予測しながらのポジショニングや動き出しなど1試合1試合に自分の目標や課題を設定し改善していきたいと思ひます。

大塚健太郎氏(山口県)

今回1試合を担当し、試合の最中にも自分がよりレベルアップできるような動き、姿勢をもっと意識していかなければならないなと感じました。ただ試合を判定していくだけでなく、レフェリーもゲームをより面白く、魅力的なものとする1つの要因になれるように、動き方、姿勢、ポジショニングなどを磨いていきます。

【参加審判員】

| | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| フットサル1級審判員 | 柿本大吾(広島県) | | |
| フットサル2級審判員 | 松山剛弘(岡山県) | 小林泉紀(鳥取県) | 中村圭吾(鳥取県) |
| | 脇田栄太(広島県) | 古河崎大介(広島県) | 有元善孝(広島県) |
| | 大塚健太郎(山口県) | 城市亮祐(島根県) | 福間秀治(島根県) |
| フットサル3級審判員 | 田中義大(広島県) | | |

【参加インストラクター】

| | | |
|------|----------------------|-----------------------|
| 石原 薫 | 中国フットサル・ビーチサッカー部会長 | フットサル1級インストラクター |
| 山田 悟 | 中国フットサル・ビーチサッカー指導者部長 | フットサル1級インストラクター |
| 柿本大吾 | 中国フットサル・ビーチサッカー副部長 | フットサル1級審判員 2級インストラクター |
| 角 英利 | 島根県フットサル・ビーチサッカー部長 | フットサル2級インストラクター |
| 藤本康弘 | 広島県フットサル・ビーチサッカー部長 | フットサル2級インストラクター |
| 長谷川景 | 広島県フットサル・ビーチサッカー部会 | フットサル2級インストラクター |